

追悼文

山辺良樹君の逝去を悼む

上原 昇 (2組)

7月11日の朝、上田の友人から電話があり、山辺良樹君(4組)が亡くなったことを知りました。山辺君は当時の表記で上田市上堀(現在は国分)出身、京都の同志社大(工)を卒業後、アサヒビール(株)に入社、日本各地の工場勤務を経て、最後は本社の調達部長を歴任されました。山辺君と筆者は上田一中で3年間同級生でした。

社会人になってからも長い付き合いが続き、ゴルフをよく一緒にプレイしたものです。山辺君に誘われて地元のゴルフ場ヴィラ蓼科CC(その後佐久春日野CCに)のメンバーになって、帰省時には必ず出かけました。ゴルフで思い出すのは、全盛期の彼はパッティングの名手で、いとも易々とパットを決めるので、何度か悔しい思いをした覚えがあります。また、筆者が上田高校関東同窓会のゴルフ幹事をしている頃、茨城工場に勤務していた彼の顔で名門の取手国際GCを格安で手配してもらい、参加者から喜ばれたものです。現役時代、関東での同期会の会場は彼の勤務先の本社ビル内(浅草吾妻橋)のビアレストランを使って大いに盛り上がりました。

退職後は実家に戻り、悠々自適な生活を送っていましたが、最近、肺気腫を患ってからゴルフも出来なくなりました。

今年の4月、上田で中学のクラス会があり、彼を誘ってみました。が、「もう宴会は無理だ。皆さんによろしく」とメールをもらったのが最後のやりとりとなりました。

7月13日に国分の法事センターでおこなわれた告別式には、地元の4組同級生が参列して見送ってくれました。

今頃、天国で大好きなお酒を飲んでいるかもしれません。

良樹君、どうか安らかに眠りください。合掌



在りし日の山辺良樹君



(2024年7月15日記)

以上